# ふえる「こども食堂」!! 広がる助け合いの輪!!

# 助け合いっていいな こども食堂新聞

4年1組 持田理人

## こども食堂とは…

ぼくのおじさんは「こども食堂」をしています。どんな事をしているのかな？お手伝いをしたり、調べてみました。

子供が一人でも行ける、むゞ料や低がくの食堂です。「子供の貧困対さく」「居場所作り」「子育て応えん」「フードロスさくげん」「食育」など、色んな助け合いの場になっています。

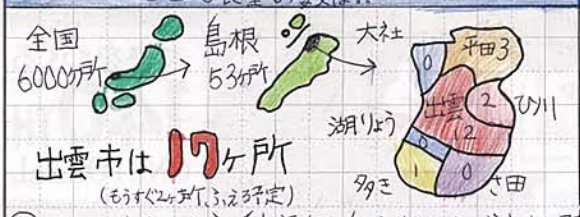
## こども食堂のはじまり

島根県出身で東京で八百屋をされている「近どうひろこさん」が2012年に始められ広がった活動です。近どうさんは、「家庭の事情で給食以外のご飯がバナナ一本だけの子がいる」とにかくできる事からやってみよう「子供が一人で来られて、大人と交流できる場を作ろう」という思いで、始められたそうです。

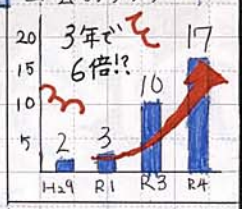
## 「活動をもっと活発に」

出雲市社会福しし協議会の糸賀さん、山本さんに聞きました。

### こども食堂の数は??




出雲市は17ヶ所
(もうすぐ2ヶ所ふえる予定)




(山)コロナという動きにくい状きょうですが助け合いの車命が広がっています。(糸)出雲は17ヶ所と多いように見えますが人口17万人に対して少ないのでもっとふえるといいです。

### どんな人がやっているの??

(糸)しょく業や年令に関係なく、色んな人がやっています。「地いきを支えたい」「人の役に立ちたい」というねつ意のある人たちです。

### 社協さんはどんなサポートをしているの??

(糸)こども食堂の活動の手助けをしています。主に…

- こども食堂の立ち上げのサポート
- 運営に必要なお金や助成金などのアドバイス
- き付の品の配布(き付したい人とこども食堂をつなぐ)
- こども食堂同士のつながりをつくる
- こども食堂のPR(活動の周知やき付のぼ集など)です。

社協だよりでPR

(糸)活動がより活発になるよう、もっとPRしていきます。(山)色んな人に活動を知ってもらって、活動が長く続く仕組みを作りたいです。

## 子育てしやすい出雲に

わくわく食堂の杉原さんに聞きました

### はじめたきっかけ

心童ぎゃく待のニュースを見て、「何か自分に出きる事はないか」と考え親への「子育て支えん」が重要だと思いました。知人が「こども食堂」をやっていることを知って、「私もやってみたい」と思い、はじめました。

### 大変なこと

- 日てい、のかく保
- 人、もの、お金のかく保
- 食数に限界がある事
- 運営に関する事む作業がタい事

などが大変です。

### うれしいこと

お子さんが苦手な食材でも、このお弁当なら食べると聞いた時や、相談事をお手伝いする中に、かい決に向って、喜んでもらえた時など、とにかく喜んでもらえた時です。

### これからの目ひょう

「わくわく食堂」の回数や食数を増やしたいです。また、他のこども食堂の立ち上げや運営をお手伝いして、活動を活発にしたいです。そして、みんなで「子育てしやすい出雲」を作りたいです。

ぼくのおじさん 杉原さん

わくわく食堂のホームページ

## お弁当は栄よう満点

かん理栄よう士の園山さんに聞きました。「こん立は、子供たちが元気に大きくなれるようにバランス良いメニューを考えます。地元の野菜や旬を取り入れることや、ロスが少なくなるように工夫します。時には、子供が好きなメニューも取り入れます。」

## どんな思いで参加しているの?

ボランティアさんに聞きました。

- 働く人がふえてみんな大変だと思うので、食を通して親子の楽しい時間をお手伝いしたいです。
- 人と関わっていきたい、人に喜んでもらえる事をしたいと思い参加しています。みんなの居場所になるといいです。
- むすめの子育てを手伝いながら、子育ての大変さを改めて感じ、子育て中の人の手助けになれればと思い、参加しています。
- ここでのボランティアで出会った人が、とてもあたたかく、そばにいると自分も心があたたかくなります。とても楽しいです。

## ぼくにも出来る事はある!?

お手伝い記録(7/31 わくわく食堂にて)

最初に、手洗い、消どくをして、エプロン、三角きん、手ぶくろをつけます。つぎに、けんこうチェック、みだしなみチェックをします。それがOKで、いよいよお手伝いスタートです。

ぼくは、

カレーをもりつけて

たまごをのせました。

完成したお弁当

お弁当が出来たら

食器をふいて片付けをしたり

お弁当を配布する数に分けて、手紙をつけて配布のじゅんびをしました。

午後5時になったら、配布のお手伝いをしました。

ぼくは、利用者さんのマイバックにお弁当を入れて、わたしました。き付の品の説明もしました。さんちょうしたけど、おいしく食べてほしいと思いながらわたしました。ぼくにもお手伝い出来る事がありました!!

## 喜びの声

利用者さんにインタビュー

- 「夕飯を作る時間に子供とゆっくりすごせるので助かります。」
- 「帰ってすぐ食べれるので助かります」
- 「みなさんが作って下さったお弁当がとてもおいしいです。」
- 「子供が喜んで食べています。」
- 小さな赤ちゃんをだっこしたお母さんがお弁当をわたす時に「産後でね不足なのでご飯を一食作らなくていいのが、本当に助かります。」と言っておられました。

## 感想

みんなが、色んな思いでこども食堂をしていることが分かって、助け合いがすごくいいなと思いました。ぼくもみんなでお弁当を作るのが楽しかったし、ぼくにも、人のために手伝える事があると分かってうれしかったです。8/5も、わくわく食堂でお手伝いしました。またお手伝いに行きたいです。